



土器の復元体験 (6月)
市内で発掘された土器を復元。想像力を働かせて土器を復元していきます。



壁画貼付作業始まる
焼き上がったタイルを、小学生から一般の方の協力により、約4万個を貼付。



平成18年3月21日 開館
当日は、郷土食の試食コーナーや奈良大学水野教授の講演も開催。



いいやま文化財めぐり (8月)
文化財保護審議委員の長瀬哲先生を講師に迎え、国及び県指定の文化財について学習しました。

写真で振り返る
ふるさと館の1年

大雪の残る中、幕を開け、3月で開館1周年を迎える、ふるさと館の1年間を、写真でご紹介します。
19年度も、各種講座の開催等、皆様のふるさと学習のお手伝いをさせていただきますので、ご要望等ありましたら、ふるさと館までご連絡ください。



佐久間雲窓展開催 (7月)
飯山藩主であり、画家であった佐久間雲窓展を市内外の作品所有者のご協力により開催。

ふるさと館開館1周年記念!



市民の皆様のご協力と学習施設として、飯山市ふるさと館が開館し、3月で1周年を迎えます。
1周年を記念して、太田地区五束の皆様のご協力により、県の無形民俗文化財である「五束の太々神楽」を披露して頂きます。市内で古くから伝わる民俗

「五束の太々神楽」
芸能披露

芸能をぜひご覧ください。
五束の太々神楽は、起源はあきらかではありませんが、室町時代の古面などが残されており、長い歴史のあるものです。
現在、五束地区では5月と9月の例大祭にて演奏されています。

五束の太々神楽 芸能披露
とき：3月25日(日)
午後2時～2時45分
ところ：飯山市ふるさと館
観覧料：ふるさと館入館料を含む(大人200円子ども100円)
※市内小中学生と同伴の保護者は無料

ふるさと館
だより

No.4
平成19年(2007)3月15日発行
6・9・12・3月発行
発行・編集：飯山市ふるさと館
〒389-2253
飯山市大字飯山1434-1
電話：0269-67-2030
FAX：0269-67-2030
e-mail:furusato@city.iiyama.nagano.jp

文化財
ひとくちメモ
飯山の宝物を探る
その4

飯山城跡

今回は、市内のお花見の名所としても有名で、現在は市民会館や弓道場などが建てられ、市民の憩いの場となっている、「県史跡飯山城跡」をご紹介します。
飯山城跡は、古くは、武田・上杉の信濃攻略の重要な舞台となった場所でもあり、江戸時代には北信濃の政治・経済の中枢となり、城下町である市街地も発展を遂げてきました。
■飯山城■
飯山城は、独立丘陵を削りならした平山城で、周囲には水堀がめぐらされ、特に南面は防備を固め、濠は広く急傾斜であり、本丸の東・



△新緑のころの飯山城跡

北・西の三面は直立に近い石垣が築かれていました。この城は、もとは豪族泉氏の居城でしたが、戦国時代に上杉氏の支配となりました。永禄4年(1561)の川中島の合戦後、上杉謙信は飯山城の重要性に気づき、本格的な築城を決意し、自ら城普請の指揮をとったと言われています。

■城主■
慶長3年(1598)上杉景勝が会津に移封となった後は、関・皆川・堀・佐久間・



△飯山城下町絵図

飯山城の石垣の特徴は、五角形が多く、石の周囲をきれいに整え、石がぴたりと重ねられており、その形が梅の花びらのように見えることから「梅鉢積み」と呼ばれています。
■信州スキー発祥の地■
明治45年1月高田で講習を受け飯山に帰ってきた市川達讓が、翌朝、城山の西側を滑り降りしました。このことから、飯山城跡は「長野県スキー発祥の地」として記録されています。



縄文土器作り教室 (7・9月)
7月に作成した縄文土器を2ヶ月乾燥させ、9月に野焼きを実施。



火おこし体験 (9月)
縄文時代の火おこし方法を体験。力が必要で、なかなか火がつかず。



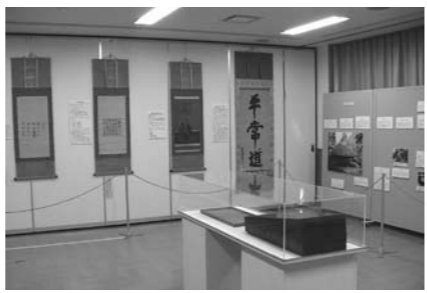
壁画完成除幕式 (8月)
1年半の製作期間を経て、完成。完成までに、延べ5千人のご協力が。



しめ縄作り教室 (12月)
達人の徳竹豊治さんに教わり、お正月に飾るしめ縄を作りました。



天然記念物めぐり (11月)
高橋勲先生を講師に迎え、市内の天然記念物をめぐりました。



正受庵寺宝展 (10月)
普段は非公開となっている宝物を、一挙公開しました。



やしろうま作り教室 (2月)
信州の郷土食「やしろうま作り教室」をお釈迦様の命日に合わせ、開催。



古文書入門講座 (1月～3月)
ふるさと館で保管する古文書を使い、講師を招き入門講座を実施。



竹スキー作り (1月)
昔の子どもの遊び道具だった竹スキー作り。竹を触るのが初めての子も。

